

# 第3学年 国語科学習指導案

西和賀町立越中畑小学校  
児童 男1名 女1名 計2名

- 1 単元名 大事なことを確かめよう  
教材名 「すがたをかえる大豆」 (国分 牧衛)  
食べ物はかせになろう/本で調べる

## 2 単元について

### (1) 児童について

1学期に児童は、説明文として「ありの行列」を学んだ。この学習では「問いと答えの文章を見つけること」「順序や時間の経過を表す言葉に気をつけること」「中心となる文を見つけること」などを学んでいる。さらに、段落の要点を言葉をさがしながら短くまとめる学習をした。

その結果、説明文は大きく三つのまとまりで構成されている場合が多く、それに合わせて小段落が書かれていることを知った。また、言語に関しては、繰り返し使われている言葉が大切な役割を果たしていること、各段落には中心となる言葉や文章があることを理解している。しかし、他の文章を読んでキーワードを正しく指摘したり、書かれている要点をおさえたりするためには、かなりの支援を必要とする。

そこで、本教材や関係する図書の読書に取り組みせ、読んで感じた不思議なこと・驚いたことを大切に、段落ごとの中心になる文や段落相互の関係に気づかせ、書く活動につなげていきたい。

### (2) 単元及び教材について

第3学年及び第4学年の「読むこと」の目標は、「目的に応じ、内容の中心をとらえたり段落相互の関係を考えたりしながら読むことができるようにするとともに、幅広く読書しようとする態度を育てる。」である。また「書くこと」の目標は、「相手や目的に応じ、調べたことなどが伝わるように、段落相互の関係などを工夫して文章を書くことができるようにするとともに、適切に表現しようとする態度を育てる。」である。本単元の「読むこと」では、「目的に応じて、中心となる語や文をとらえて段落相互の関係を考え、文章を正しく読むこと」「目的に応じて内容を大きくまとめたり、必要なところは細かい点に注意したりしながら文章を読むこと」である。

本単元では、まず、「すがたをかえる大豆」で大豆やその加工食品について書かれた説明的な文章を読み取る。次に、「食べ物はかせになろう」の学習として、食べ物について自分なりに調べ、文章にまとめる活動をする。

本教材「すがたをかえる大豆」は、身の回りに数多くある大豆やその加工食品について取り上げたもので、毎日の食生活等を考えてみると本当に身近な内容である。しかし、「これが豆からできているなんて？」と思う物もあるはずで、意外性がある。文章そのものは段落ごとに「大豆が姿をかえていく様子」が書かれてあり、比較的とらえやすいと思われる。また、各小段落のはじめの言葉や文も、全体のつくりを意識させるものであり、それに気づかせることで相互の関係にも目を向けやすくなると思われる。

### (3) 指導にあたって

第一次では、この単元は全体として「すがたをかえる大豆」と「食べ物はかせになろう」の大きな二つで構成されていることを、先ずつかませる。その上で、「豆」や「食べ物はかせ」という何か楽しいことを予感させる題材を生かしながら学習計画を立て、最終的な目標は「自分が本などで調べたことを分かりやすく書いてみんなに知らせる。」にあることをつかませる。その学習活動がスムーズに進められるように並行読書に取り組みせ、自分の題材を早めに見つけさせる。それにより、自分が書きたいと考えている題材を念頭に、本教材を読み進められるようにする。

第二次では、「すがたをかえる大豆」の全文を読み、おいしく食べる工夫と食品を書き出して整理する。その学習活動を通して、文章全体が「初め・中・終わり」に分けられていたり、分かり

やすい順番で並べられていたりしていることを知り、説明的な文章のつくりについて考えさせる。  
 第三次では、「食べ物はかせになろう」という説明的な文章を書き上げることがねらいではあるが、3年生なりに本当に「はかせ」になれるように活動させたい。そのために、自分が知りたい情報を探したり整理したりする調べ学習の進め方をしっかり学ばせたい。

本校の研究主題「自らの思いや考えを表現できる子」に関わっては、次の点を留意したい。

- ①自力解決の場における一人一人に思いや考えをもたせるための指導の工夫として、
  - ・読みのめあてに沿って、サイドラインを引いたり書き込みをしたりさせる。
  - ・内容を正しくつかむため、キーワードや文頭・文末の表現に注目させる。
  - ・実物や資料などを活用し、理解を深めさせる。
- ②交流の場における児童の思いや考えを広げ深めるための指導の工夫として
  - ・学級内交流の場でスムーズに発表出来るよう、メモや感想の文章などを準備させる。
  - ・思いや考えを伝えたり聞いたりする際の観点を持たせるようにする。

### 3 単元の目標

- ◎ 身近な食べ物についての知識を得るとともに興味を広げる。
  - ◎ 中心となる語や文、段落相互の関係に注意して文章を読む。
- 【関心・意欲・態度】・食べ物について書かれた読み物や図鑑などを、興味を持って読もうとする。
- 【読むこと】・段落相互の関係を考えながら、文章の内容を的確に理解する。
- ・内容を大きくまとめたり、必要なところは細かい点に注意したりしながら読む。
- 【言語事項】・文章全体における段落の役割を理解する。

### 4 指導計画と評価規準（18時間）

次時	学習内容	関心・意欲・態度	読むこと	言語事項
一 つかむ	1 教材文を読み、単元のねらいをつかんで学習の見通しをもつ。	大豆について興味を持ち、感想を書こうとしている。	大豆の様々な姿を読み取り、驚きや疑問を感想に書いている。	
	2 言葉の意味調べたり、新出漢字の書き方を確かめたりする。	難しい言葉や新しい漢字を調べて理解しようとしている。		辞典を使い、新出漢字や難語句を調べている。
	3 文章を大きく三つに分け、学習計画を立てる。	学習のめあてを確かめながら、進んで読み取ろうとしている。	全文を読み、内容を大きく分けて学びたい課題を考えている。	
二 深める	4 筆者の提示した話題について読み取る。①②		段落①②を読み、大豆についての説明をつかむ。	指示語に注目して読んでいる。
	5 おいしく食べる工夫の本事例を読み取る。③④⑤		段落③④⑤を読み、おいしく食べる工夫についてつかむ。	記述の順序を表す言葉の使い方に気づいている。
	6 おいしく食べる工夫の本事例を読み取る。⑥⑦		段落⑥⑦を読み、おいしく食べる工夫についてつかむ。	
	7 筆者のまとめを読み取る。⑧⑨ 小段落に小見出しをつける。①②③④	段落にふさわしい小見出しを考えようとしている。	段落⑧⑨を読み、大豆が広く食べられている理由と、筆者の感想をつかむ。	まとめの言葉に気をつけて段落のつながりを考えている。
	8 小見出しをつけ、文章のまとまりを考える。	説明文の書き方や言葉の使い方について	「すがたをかえる大豆」を学習した感想を、自	

		⑤⑥⑦⑧⑨	て、気づいたり見つけたりしようとしている。	分なりの言葉で書いている。	
		学 習 内 容	関心・意欲・態度	書くこと	言語事項
三	9	教材文を読み、学習活動の見通しをもつ。	教材文を読み、意欲的に自分の学習計画を立てている。	前時までの学習を、どのように生かすかつかんでいる。	
広 げ る	10	調べたい食べ物を決め、本などを使った調べ方を知る。	自分が調べたい食べ物を決め、意欲的に学習を進めようとしている。	調べたい食べ物を決め、本などを使った調べ方が分かる。	
	11	知りたい食べ物について資料を使い情報を集める。 ↓	自分の立てた計画にしたがって、積極的に学習に取り組んでいる。	図書資料などを使い、調べた大事な内容をカードに書いている。 ↓	
	12				
	13				
	14	調べた事柄を内容別に整理し、構成表に段落ごとに分けて下書きをする。 ↓		カードの並べる順番を考え、段落を意識しながら構成表に書いている。	つなぎことばの働きを考え、文章の中で適切に使っている。
	16	作品の清書をする。		文章を推敲しながら清書している。	段落のもつ役割を理解している。
	17				
	18	まとめた作品の発表会を開き、交流する。	友達の発表を聞き、作品のよさを見つけてようとしている。	作品の段落構成がよく分かるように発表している。(話すこと)	段落のつくりや記述の順番に着目している。

5 本時の指導(第5時/18時間)

(1)目標

○大豆をおいしく食べるための工夫とその食品について知る。

(2)評価の観点と具体的評価規準

観点	A	B	支援が必要な児童への手だて
読む能力	大豆をおいしく食べる工夫とその食品について、すがたの変化に注目しながら簡潔な文で書いている。	大豆をおいしく食べる工夫とその食品について正しく書いている。	「くふうがあります」という言葉を手がかりに、小段落毎に一つ一つ確かめさせる。

(3)展開

段階	教師の支援(・)と評価(*)	学習活動 と 学習内容	形態
つかむ 5分	<ul style="list-style-type: none"> <li>大豆とはどんなものだったかを思い出させる。</li> <li>本時は、そのままでは食べにくい大豆を、おいしく食べれるようにする工夫を読み取ることを知らせる。</li> </ul>	1 前時の学習を想起する。 2 本時の学習課題をつかむ。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">大豆をおいしく食べるには、どんなくふうがあるか読み取ろう。</div>	
深める 30分	<ul style="list-style-type: none"> <li>読みの視点として、繰り返し使われている言葉に注目させる。 サイドライン <u>〜くふうがあります。</u></li> <li>線で囲む いちばん(分かりやすいのは、) 次に、 また、</li> <li>学習の進め方をもとに考えさせる。、</li> <li>状況に応じてヒントカードを見せる。</li> <li>どこが中心文か、表現から理由付けするようにさせる。</li> <li>段落⑤は分かりにくい、「工夫があります」の表現を見落とさないように助言する。</li> <li>*大豆をおいしく食べる工夫とその食品について書いている。 (ワークシート)</li> <li>まとめを書き終わった児童には、説明事例の順番に目を向けさせ、自分が書く時の手がかりにさせる。</li> <li>どの工夫についてどのように思ったのかを分かりやすく書かせる。</li> <li>*おいしく食べる工夫について自分の感想をまとめて書いている。 (ワークシート)</li> </ul>	3 本時の学習場面を音読する。③～⑤ 4 内容を読み取る学習の進め方を確かめる。 <div style="background-color: #cccccc; padding: 2px; display: inline-block;">本研究に関わる点①</div> ○キーワードを見つけ、線を引く。 ○線で囲み、文頭のことばをおさえる。 5 読み取ったことをワークシートに書き込む。 —自力解決— 段落③ ○いっぴりにたりして、やわらかく、おいしくするくふう ・食品は、 段落④ ○こなにひいて食べるくふう ・食品は 段落⑤ ○大切なえいようだけを取り出して違う食品にするくふう ・食品は 6 読み取ったことを確かめ合う。 ・各自がつかんだ工夫と食品について発表し合う。 7 本時の学習で学んだことについての感想を五十字程度で書く。	
まとめる 10分	<ul style="list-style-type: none"> <li>読み取ったことから、驚いたことや感心したことをはっきり書かせる。</li> <li>4年生のまとめについて、共感的な内容で発言させるようにする。</li> <li>3段階程度で評価させる。</li> </ul>	8 本時のまとめ(4学年との交流)をする。 <div style="background-color: #cccccc; padding: 2px; display: inline-block;">本研究に関わる点②</div> ○おいしく食べるための工夫と食品についての感想を発表する。 ・4年生の発表を聞いて感想を述べる。 ○本時の自己評価をする。 9 次時の予告をする。	

(4) 板書計画

⑤ また	④ 次に	③ ん いち ば	段落 ことば
			おいしく食べるためのくふう
			かわったすがた (食品)

大豆をおいしく食べるには、どんなくふうがあるか読み取ろう

すがたをかえる大豆      国分牧衛

◇勉強して思ったこと

◇せつめいの順番には、何かわけがあるのでしょいか

(5) 児童の実態と指導の重点(略)